



1 はじめに

本校は、岡山県西部に位置し、笠岡市と矢掛町の二つの自治体による組合立の学校です。全校生徒数は72名で、学校生活は落ち着いており、諸活動に熱心に取り組んでいます。

令和2～3年度に県の英語力向上ICT教材活用事業指定を受け、その一環としてTerra Talkという英会話アプリケーションを導入し、英語力の向上を図りました。Terra Talkの導入により、家庭では取り組むことが難しかった単語の発音練習、リスニング、そして英会話の練習を個別の力に応じて、いつでも、何度でも取り組むことができるようになります。

2 ICT活用の工夫

(1) 英語力の現状と授業改善

初年度の生徒への英語アンケートで、半数以上の生徒が



会話をタブレットで撮影

「即興で英語を話すことは苦手である」と答えました。また、GTECの結果を踏まえ、聞く力と話す力に課題があると分析しました。そこで、英語科で検討し、全学年で授業の帯学習としてTerra Talkを活用し、目的に応じた会話を練習したり、教科書で学ぶ英語表現をより実践的に身につけたりする活動を行うことにしました。

そして、Terra Talkやオンライン教材などのICT教材を、

授業の復習や予習として、家庭学習でも取り組むようにしました。

これらの取組等により、GTECの事前・事後の結果は、トータルスコアの上昇、特に聞く力と話す力が向上しました。しかし、読む力と書く力のスコアが下がりました。話す活動や聞く活動を重視して授業を行ったこともあり、4技能をバランスよく取り組むことの難しさを実感しました。

(2) ICTを活用した異文化交流の取組

令和3年・4年度には、義務教育課のご協力のもと、韓国中学生とのオンライン交流を行いました。Terra Talkを使い、家庭で自己紹介や身近な会話練習を積み重ね、PadletやGoogle FormsというICTアプリケーションを使って、自己紹介や文化紹介を行いました。「自分の言いたいことはうまく言えなかったけれど、話すことは楽しい。」「しっかりとした英文ではなかったけど伝わって会話ができた。」など、生徒たちは、伝えたいことを英語で話す難しさを経験しながらも、他国の人と



オンラインで韓国の生徒との交流

関わる楽しさを実感したようでした。

3 おわりに

引き続きICT教材を活用し、目的に応じた会話の練習を学校や家庭で取り組んでいます。ICTを使うことで、他国の中学生と交流することができました。今後も、ICTを効果的に学習に取り入れ個別の学習を充実させるとともに、実際のコミュニケーションにつながるよう、英語科で、また学校全体でも検討していきたいと考えています。

(指導教諭 佐藤裕子)